

地下鉄七隈線（天神南～博多）沿線まちづくりガイドライン検討委員会

（第４回） 議事録

日時：平成 24 年 11 月 20 日（火） 16:30～17:30

場所：市役所 15 階講堂

出席者

坂井 猛（委員長）	九州大学新キャンパス計画推進室 教授・副室長
辰巳 浩（委員長代行）	福岡大学工学部社会デザイン工学科 教授
嶋山 一機	We Love 天神協議会 事務局長
有隅 基樹	博多まちづくり推進協議会 事務局長
竹ヶ原 政徳	川端中央商店街振興組合 理事長
原 公志	上川端商店街振興組合 顧問
川原 雅康	中洲町連合会 専務理事
楠下 広師（欠席）	春吉校区自治協議会
山下 正士	博多校区自治協議会
花田 勇人	住吉校区自治協議会
福山 誠	東住吉校区自治協議会
吉村 義美（欠席）	堅粕校区自治協議会
細川 道夫	福岡県 警察本部交通部交通規制課 課長補佐
小田 健治	福岡県 博多警察署交通第一課 課長
宮田 敏通	福岡県 中央警察署交通第一課 課長
清水 信彦	西日本鉄道株式会社自動車事業本部 副本部長兼計画部長
兵藤 公顕	九州旅客鉄道株式会社総合企画本部経営企画部 担当部長
小山 登	社団法人福岡市タクシー協会 常務理事
富山 英範	九州地方整備局 福岡国道事務所 所長
池永 昭夫（欠席）	福岡県 県土整備部河川課 課長
横枕 篤（欠席）	福岡県 県土整備部企画交通課 課長
西田 直人（欠席）	福岡県 県土整備事務所 所長 所長
三角 正文	福岡市 住宅都市局都市づくり推進部 部長
大谷 雄一郎	福岡市 住宅都市局みどりのまち推進部 部長
山本 恭久	福岡市 住宅都市局都市計画部 部長
柴山 賢治	福岡市 道路下水道局管理部 部長
有吉 知美	福岡市 道路下水道局計画部
荒川 裕司	福岡市 博多区地域整備部（沿線区代表） 部長
木下 敬一	福岡市 交通局建設部 部長

【議事録】 質疑及び意見交換

- 委員長：これまで3回の検討委員会を行い、市民意見を募集し、たくさんの意見を頂きました。素案賛同の意見がある一方で、これが足りないなどの意見も頂いています。3回の委員会で議論を重ねてきたこともあり、ほぼこの素案の中に盛り込まれたかと思いますが、「人が集い」や「賑わい」というキーワードが不足していたようで、その点は事務局でキーワードを加えた形で修正していただきました。今回は、市民意見の結果とまちづくりガイドライン（原案）の2点についてご意見を頂きたいと思います。
- 委員：参考資料の3ページ（図面）ですが、地下鉄七隈線延伸区間の中間駅の位置は、この位置で決定でしょうか？
- 委員：延伸事業については、着工のための手続きが幾つか残っていますが、中間駅については、市としては天神～博多駅間の中間に位置し、利用者にも便利のよい、この付近にしたいということで手続きを進めています。
- 委員：この検討委員会でも国体道路側に駅をという意見が出ていましたが、はかた駅前通り側に決まると判断していいのか。

- 委員：中間駅の考え方ですが、天神南駅と博多駅のちょうど中間地点がこの祇園町西交差点のはかた駅前通り側となります。
交差点部分がカーブになっているので少し博多駅側にずれてはいますが、中間地点に最も近いこの付近ということで手続きを進めています。
- 委員：カーブ（祇園町西交差点）の手前で停車するのか、カーブを通り過ぎて停車するかの違いだけのような気がします。
- 委員：ご意見は十分に理解できるのですが、延伸区間の中間地点が祇園町西交差点の博多駅側なので、その付近に駅を持ってくることで、より多くの市民に便利に利用していただくと考えています。
- 委員：案としては、国体道路側での整備も残っているのか。
- 委員：市としては図に示している位置で考えており、手続きを進めています。
- 委員：わかりました。駅の位置は決定ということで判断します。
- 委員：前々回の時にも言いましたが、インフラ整備として櫛田神社の南側に位置する三角市場の買収についてどう考えられているのかお聞かせ頂きたい。
三角市場は、櫛田神社の南側に位置し、中洲にも隣接しており、沿線まちづくりにおいてもポイント（まちの活性化、神社の見える景観、祭りの中心部など）になる場所だと考えている。
- 事務局：三角市場は、昭和26年ごろに建設された古くから立地しているビルと認識していますが、今回、ガイドラインをまとめる段階では、具体の事業の中身まで記述するものではなく、今後まちづくりを取り組む時の基本的な視点を決めさせて頂いています。
このため、このガイドラインを策定する段階では、委員の具体事業に関する意見について、できる、できないということではなく、今後のまちづくりを進める上でその意見も踏まえ、かつ地権者等の意向も踏まえながら検討していきたいと思えます。
- 委員：漠然としていますが、ガイドラインでも謳っている、人が集い・賑わいのある明るいまちづくりを進める上でも、ぜひ三角市場の開発を進めて頂きたい。
三角市場は、鉄筋ではなく、竹筋で建設されているので、西方沖地震の時も竹のしなりでなんとか揺れに耐えたが、地権者も安全上の問題から半分以上が手放そうという機運になっているのでこのチャンスを活かして早めに手を打って頂きたい。
われわれ地域も応援します。まちづくりのためにそのあたりの努力をお願いします。
- 委員：ご存じの通り、中洲は西日本最大の歓楽街であります。川端商店街は商店街としても歴史があり、櫛田神社は太宰府天満宮よりも歴史的に古い神社です。それから寺町通りも博多部の川端のすぐ近くにあります。
市長の今後の方針説明の中で、福岡市は観光都市を目指すということであれば、アジアや全国からの観光を考えても歴史・伝統のある博多部、中洲川端の近くに駅を整備する必要があります。市が観光都市として発展するためにも、天神、中洲川端、博多駅の3拠点でうまく人が流れる回遊を形成して頂きたい。
技術的には、中間駅を国体道路側に駅をもってきて問題ないと思う。
ぜひ将来の福岡市の発展を考えて中洲川端に近いところに駅の整備を考えて頂きたい。
- 委員長：福岡にとって大変大事な話を頂きました。
中洲川端は、歴史のあるまち、福岡市の代表的なまちでもありますし、へそでもある中心部です。そのような場所のつくり方というのは、気をつけていかなくてはならないし、にぎわいもしっかりつくっていききたいという場所だと思います。
三角市場においても、戦後つくられた場所ではありますが、それよりずっと古い物がまわりにあって、そのあたりを歴史のまちづくりを大事にしながら、観光都市ふくおかとしてしっかり拠点をつくっていくという役割があると思います。
このあたりをしっかりと頭に入れながら、このガイドラインを活かして、沿線を賑わい、人が集まるところにしていこうということだと思います。
他にご意見がないようでしたら、事務局から提案して頂いた内容でガイドライン（原案）とさせて頂くということでよろしいでしょうか。

全 委 員：異議無し

委 員 長：ありがとうございます。これで第4回の検討委員会を終了します。
これまで第1回から4回まで短い期間のなかで、みなさまの闊達なご意見を頂きまして滞りなく議事を進行することができました。ありがとうございました。
このガイドラインは、委員の皆様の意見、市民のみなさんの意見も頂いたなかで大変有意義な内容になったのではないかと思います。
今後は、このガイドラインが沿線まちづくりに十分活用されることを望みます。
わたしからは以上です。事務局から何かありますか。

事 務 局：委員の皆様におかれましては、ご多忙の中出席して頂きまして4回の検討員会でガイドライン原案のとりまとめをして頂きありがとうございました。
これまでの議論を踏まえまして、ガイドラインの案を作成し、その後、議会の意見を伺いながら年度内にはガイドラインを策定したいと考えています。
地下鉄七隈線の具体的な手続きとしては、今年の6月に鉄道事業認可を国から受け、現在は環境アセスメントから都市計画決定に向けた手続きを進めているところです。
七隈線延伸区間の都市計画決定は、路線と駅の位置を都市計画の中に定める手続きで、これらの手続きを経て平成32年の開業に向けて、全市が一丸となって取り組んでいるところです。
今回もたくさんのご意見を頂きました中間駅の出入口については、実際にどこにできるかは土地の問題もありますので、今後交通局の方で検討が進められると思います。
このガイドラインが策定された後は、今後の沿線開発やソフト面も含めた、いろいろなまちづくりにおいて配慮する事項としてみなさんに共有して頂いて、地下鉄七隈線の延伸によって沿線地域が50年、100年と賑わいが続くような形で進められたらと思っています。
今後も地下鉄の延伸に際して、市でもいろいろと検討進めていきたいと思っていますので、引き続きご協力の程よろしくお願い致します。

事 務 局：本日の議事録については、事務局で作成したものを委員の皆さんに確認して頂いた後で市のHPで公開したいと考えています。後日、議事録案を送付したいと思います。
ガイドラインについては、年度内を目標に策定を進めていきますが、策定後には委員の皆様へお渡ししたいと考えていますのでよろしくお願いします。
本日は、お忙しいなか誠にありがとうございました。